

脱炭素経営とは

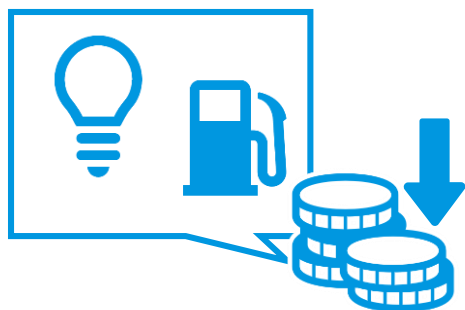
脱炭素経営とは、脱炭素化の視点を織り込んだ企業経営のことです。脱炭素化をコストのかかるものと捉えるのではなく、経営リスク低減や成長のチャンスと捉え、経営上の重要課題として脱炭素経営に取り組む企業も出てきています。

世界的なエネルギー価格や物価の高騰等、中小企業の経営課題は複雑化・多様化しています。そうした中、中小企業にとって脱炭素化に向けた取組は、多くの資金や投資が必要なため、取り組むことが難しいと思われがちですが、取組によっては資金がかからず、かつ、様々な経営課題の解決にも寄与するものです。

経営リスクの低減や新事業拡大のチャンスをつかむためにも、脱炭素経営について検討してみませんか。

脱炭素経営に取り組むメリット

① 光熱費・燃料費の低減により
コスト削減



② 自社の競争力を強化し、**売上・受注の拡大**

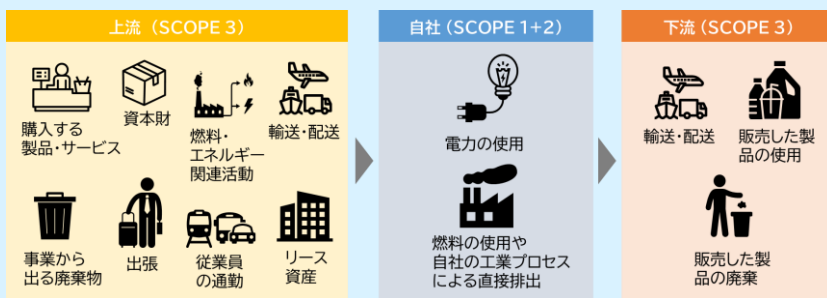


脱炭素経営に取り組まないことにより想定されるリスク

① 取引先からの除外

- 大企業などでは、自社のCO₂排出量の削減のみならず、取引先のCO₂排出量についても削減を実施していくことを目標に掲げている企業も増えてきています。今後取引先に対する脱炭素化の要請が強まることで、要請に応じられないことが原因で、取引先から除外される恐れがあります。

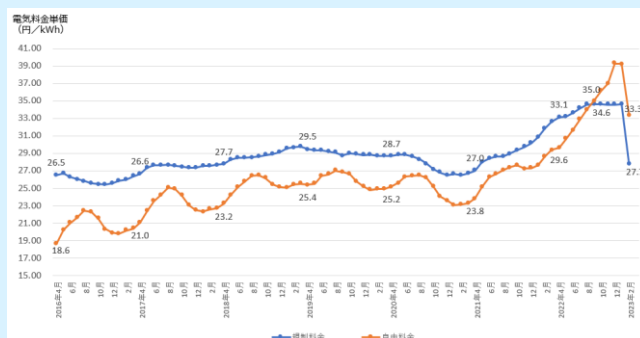
サプライチェーンによるCO₂排出の要因



② 化石燃料由来の電力・エネルギーコストの上昇

- 2021年以降、エネルギー価格が世界的に高騰しています。非効率なプロセスや非効率な設備を放置し、エネルギーを多く消費し続けることは、運営コストの増大につながる事が予想されます。

家庭用電気料金月別単価の推移



出典：経済産業省

この事例集は脱炭素経営を目指す中小企業のみなさまに向けて作成しています。

- ❓ 取組を始めたいけれどどこから始めればいいのかわからない
- ❓ 取組を実践することでどんなメリットがあるのか知りたい
- ❓ 実際の事例やその取組内容について知りたい

このような企業のみなさまの疑問を解決し、脱炭素経営への一歩を踏み出す後押しとなることを目指しています。

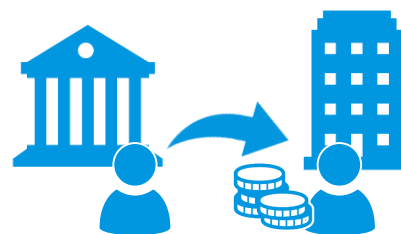
③ 気候変動などの社会課題の解決に取り組むことで**意欲の高い人材の獲得**



④ 知名度や企業イメージの向上



⑤ 資金調達率のUPも期待



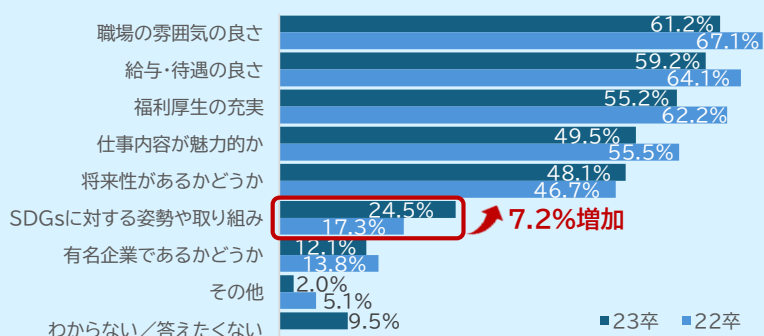
③ 市場・顧客の喪失

- 環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の3つの観点を踏まえた投資の方が、収益性だけを考慮した投資よりも、投資リスクを減らし、企業価値が上がるため、リターンにもつながることが実証されています。
- 近年では、「環境問題に取り組んでいる企業かどうか」も、投資家の間でも重要な投資判断の基準とみなされるようになってきており、今後資金調達を受けるのであれば、企業の資金調達の実現性にも関わります。
- また、近年では地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動「倫理的消費(エシカル消費)」を選択する顧客も増えています。製品の脱炭素化をアピールできなければ、今後、顧客を失う可能性もあります。

④ 将来の人材を逸失

- 近年では、企業のSDGsに対する姿勢や取組を重視する就活生も多く、脱炭素経営をはじめとするSDGsへの取組を実践しないことにより、人材を確保する機会を逃すことも考えられます。

就活生が就職先企業を選ぶ上で重視する点における変化



出典：リサビー®「23卒就活生の選社軸とSDGsの関係性」に関する調査